

広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会 第3回運営委員会 会議録

日 時 平成26年2月12日(火) 15時00分～16時30分

場 所 まちづくり市民交流プラザ 南棟4階協議室

出席者 (委員) 波多野委員長、柿本委員、中島委員、東委員、弘中委員
(プラザ) 田村館長、樋口

議事及び会議要旨

議事1 平成25年度まちづくり市民交流プラザ事業進捗状況について(資料1)

事務局から、まちづくり市民交流プラザ事業の1月末現在の進捗状況の報告と2月以降の実施計画の説明を行い、各種事業について意見が交わされた。

- ・公民館グループ作品展を見たが、出展している方から「このような場所で展示ができて非常に良い」との声を聞いた。ただし、少し閑散としていた。今後は、様々な公民館と連携して実施するとよい。
- ・公民館グループ等の成果発表事業では、公民館との会議の中で内容を決め、展示以外に様々な発表を行えるとよい。
- ・まちづくりワークショップは子ども会との連携事業ということだが、どこの子ども会も運営に苦勞しており、重要な課題である。今後は、町内会等の問題を話し合う場があるとよいのではないか。町内会の加入率は下がってきており、災害時には加入していない人に情報が届かないなどの問題がある。
- ・ボランティア人材バンクだが、その登録者をプラザの講座の講師として活用してみるのもよいのではないか。
- ・まちづくり学校に参加したが、非常に役に立つ内容で進め方も良かった。今後もぜひ継続してもらいたい。
- ・プラザがまちづくり学校の修了生を各公民館に紹介し、各地域で同様の講座が展開されるような仕組みがあるとよいのではないか。また、公民館からまちづくり学校の参加者を推薦してもらうことも考えてはどうか。受講後すぐに地域で活躍することは難しいが、修了書などを発行すれば各地域で活動しやすい。プラザが公民館へ人材を紹介すること(橋渡し)も必要である。
- ・プラザ事業の中で、リーダー養成に位置付ける事業は何か。プラザが実施する事業は個人のスキルアップで終わるだけではなく、地域リーダーとして活動するような人材を育てるものであって欲しい。

○現在プラザでは、きっかけづくりとしての事業を実施している状況である。区役所等でもまちづくりに関する事業を展開している。

- ・きっかけづくりの機会を与えられた人たちが、もっとまちづくりに関わっていくと良い。その人たちが育っていくことが理想である。
- ・入館者数のアップを考えるのであれば、集客力のある事業を実施することも必要である。
- ・プラザだより(公民館だよりのような広報紙)を毎月または隔月で発行し、新聞折り込みすることはできないか。何らかの新たな広報手段を考える必要がある。

- ・今何が求められているのか、時代を反映した施設運営を考えていく必要がある。
 - ・プラザ運営委員は、どのようにプラザを運営していけばよいかを考える立場にある。例えば、次年度はプラザのロビー活用を運営委員が一緒に考えてみるのもよい。
 - ・稼働率が下がっているとのことだが、プラザは会場が空いていない、なかなか予約ができないという声を聞く。
- 会場にもよるが、広島市の利用（公益事業）の割合も高いため、希望する会場の予約が難しい場合がある。

議題2 平成26年度まちづくり市民交流プラザ事業計画書（案）について（資料2）

事務局から、まちづくり市民交流プラザの平成26年度事業計画について説明を行った。
了承。特に意見なし。

議事3. 平成26年度まちづくり市民交流プラザ運営委員会委員の就任の依頼について
全員に再任を依頼し、了承。

議事4. まちづくり市民交流プラザの管理・運営について
特になし。

議事5. その他について

次回の運営委員会は、平成26年6月11日（水）午後3時からの開催とする。

閉会